

# 一般質問通告事項

令和8年2月25日  
第1回松江市議会定例会

順序	議員名	原田守	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	3月5日
質問項目		質問要旨				
1	松江市のホームページが閲覧できない状態に陥ったことについて	(1) 松江市のホームページが閲覧できない状態に陥った原因について伺う。 (2) 今後の改善計画について伺う。				
2	学生・生徒・児童等の視点で考える除雪について	(1) 令和8年2月8日未明に発生した積雪の対応を伺う。 ア 保育園・幼稚園・小学校・中学校の対応を伺う。 イ 休校や開校の判断基準や権限について伺う。 (2) 降雪後の通学路の確保について ア スクールバス運行状況を伺う。 イ 徒歩通学エリアの歩道の除雪状況を伺う。 ウ 路線バス運行状況を伺う。				
3	除雪機の導入について	(1) 学校周辺の除雪にショルダータイプの除雪機を導入することについて ア 小学校の除雪機の配備について伺う。 イ 除雪機の稼働状況について伺う。 ウ ショルダー型アタッチメントタイプの除雪機の導入について伺う。				
4	雪害に強いまちづくりについて	(1) この度の大雪の除雪作業について、市民の声は、どのような意見が市に届いているか伺う。 (2) 大雪の際の今後の対策について松江市地域防災計画の中の第10章 雪害対策計画に「雪害に強いまちの形成」とある。 ア 2月8日の降雪の状況と影響、そしてその後の対応を伺う。 イ この度の大雪で16年前の教訓が強く生かされた部分は、どこか伺う。 ウ 除雪作業における最大のボトルネック、阻害要因は何か伺う。 エ 「雪害に強いまち」とは何か、具体的かつ簡潔な回答を伺う。 オ 除雪計画の根本的な考え方(優先順位)を伺う。				
5	松江市としてのBCP対策の自己評価について	(1) 令和8年1月6日に発生した島根県東部を震源とする地震と2月8日未明に発生した大雪を踏まえ松江市として計画していたBCP対策の自己評価を伺う。				

# 一般質問通告事項

令和8年2月25日  
第1回松江市議会定例会

順序	14	議員名	原田守	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	3月5日
質問項目		質問要旨					
6	学校でのタブレット端末の交換について	<p>(1) 市内の学校で、タブレットを3学期からWindowsからChromebookに変更されたようだが、この時期に変更する必要性があったか伺う。</p>					
7	「聖地」化した西田千太郎旧居について	<p>(1) 9月での一般質問の回答で「貴重な建築物であり、文化的価値の検証を行う」とお答えいただいた。その後現地に行き確認したと思うが検証結果を伺う。</p> <p>(2) 観光資源としての支援を伺う。</p> <p>(3) 令和8年2月13日、NHKプレミアムトークで錦織役の吉沢亮氏が、西田千太郎旧居を訪れたことが公表された。このことが意味するものが何かを伺う。</p> <p>(4) 同じ番組でも報じられたが、西田千太郎旧居を後世に残すため、クラウドファンディングが行われる。なぜ、クラウドファンディングをしなければならないのかを伺う。</p> <p>(5) 岸清一博士の生家の瓦が寄付された。 ア 西田氏と岸氏の関係性について伺う。 イ 西田家と岸家の瓦の共通点を伺う。</p> <p>(6) 田野医院の瓦が少ない数でも使うことができないか伺う。</p> <p>(7) 岸家、田野家とその時代に関わりがあった家が、今日つながる事によって新たな物語が生まれる。観光的価値がさらに上がると思わないか。所見を伺う。</p> <p>(8) 「聖地」化した西田千太郎旧居に対する松江市の支援について市長の見解を伺う。</p>					

# 一般質問通告事項

令和8年2月25日  
第1回松江市議会定例会

順序	議員名	長谷川浩司	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	3月5日
質問項目		質問要旨				
1	松江市の「除雪計画」「凍結防止剤等散布作業計画」、「除雪体制」について	<p>(1) 令和5年2月定例会での三島良信議員から松江市の除雪体制についての質問があった。状況確認を含めて5点伺う。</p> <p>ア 2月7日深夜から2月8日にかけての降雪が原因の事故やケガがあったのか、救急出動要請があったのか、市民生活にどのような影響があったと認識されているのか伺う。</p> <p>イ この度の降雪について事前から大雪が予想されていたが、本市が策定している除雪計画、凍結防止剤等散布作業計画、除雪体制に基づいてどのように対応されたのか伺う。</p> <p>ウ 本市の「除雪計画」について、除雪の優先順位を含めて市民の皆様への情報発信はどのような方法で行われていて、それは有効と判断しているのか、また、この度の降雪対応を検証して令和8年度の除雪計画が策定されると思うが、その際各支所、及び各支所管内の自治会の意見や情報を十分に踏まえ、各支所単位、あるいは公民館単位で「除雪計画」を策定することも有効ではないかと考えるがその可能性について見解を伺う。</p> <p>エ 本市の「除雪計画」とともに策定されている「凍結防止剤等散布作業計画」について記載内容の有効性に疑問に感じる。各支所単位、あるいは公民館単位で計画を策定することも有効ではないかと考えるがその可能性について見解を伺う。</p> <p>オ 玉造温泉や松江しんじ湖温泉、美保関エリアなどの宿泊施設集積地や観光施設周辺の道路を1次路線として優先的に除雪することが観光戦略プランの冬季対策の一助にもなり得ると考えるが見解を伺う。</p>				
2	豪雨による農地の災害復旧の取り組みについて	<p>(1) 令和7年2月定例会での森脇幸好議員から農地の災害復旧に関する質問があった。状況確認を含めて3点伺う。</p> <p>ア 実例はどのようなものがあったのか伺う。</p> <p>イ 松江市として最適な補助制度を検討すると答弁があったが、最適な補助制度とはどのようなものか伺う。</p> <p>ウ 最適な補助制度はどのように周知されたのか、また、今後されるのか伺う。</p>				
3	松江市観光振興基金条例について	<p>(1) 宿泊税を活用した事業の一環として、「自然災害や感染症のまん延などによる観光関連産業への影響に的確に対応する」ための松江市観光振興基金の新設が提案されている。そこで2点伺う。</p> <p>ア 今回、クーポンを追加発行した経験を踏まえ、今後このような緊急時に基金を活用する際、どのような課題が想定され、どのように対応されるのか伺う。</p> <p>イ 基金の整備に加え、いざという時の手法を「宿泊クーポン」にするのか、「周遊クーポン」とするのかなど、平時から関係する事業者と協議を行い迅速に発動できる仕組みの整備が必要と考えるが、市の見解を伺う。</p>				

# 一般質問通告事項

令和8年2月25日  
第1回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
順序 15 議員名 長谷川浩司 (個人質問) (一問一答方式) 質問日(予定) 3月5日	
4 松江シェアサイクル「ラフチャリ。」について	(1) 松江観光において二次交通の不足は深刻な課題となっている。この課題解決の手段として、昨年11月から松江シェアサイクル「ラフチャリ。」が導入されている。そこで3点伺う。 ア 「ラフチャリ。」の現在の運用状況について伺う。 イ 二次交通の不足解消にどれほどの効果を見込んでいるか伺う。 ウ 今後SNS等を活用して断続的に「ラフチャリ。」の魅力や利便性のPRを行い、更なる活用促進を図ることも有効ではないかと考えるが市の見解を伺う。

# 一般質問通告事項

令和8年2月25日  
第1回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
1 職業体験イベント(MATSUE WAKU WORK)の取り組みについて	(1) 市内全中学校の2年生対象の職業体験イベント(MATSUE WAKU WORK)の取り組みと、今後の若者支援について4点伺う。 ア 市内全中学校の2年生対象の職業体験イベント(MATSUE WAKU WORK)の取り組みをはじめた経緯について伺う。 イ 第二回MATSUE WAKU WORKの参加者(生徒・先生・企業)の感想、評価の声はどんなものがあったのか、第一回目からの改善点を伺う。 ウ 松江市の人口推移と生産年齢人口の推移、今後の見通しと、若者のIターン・Uターン者数が増えているが、どのように分析しているのか、また今後の展望を伺う。 エ 誇れるまち松江について、昨年の市長所信表明でMATSUE WAKU WORKについて触れていたが、令和8年度の意気込みや今後の展望を伺う。

# 一般質問通告事項

令和8年2月25日  
第1回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
1 防災の死角に対する本市の防災対策について	(1) 長期休暇中の災害発生時、子どもたちだけの被災を想定した避難誘導や安否確認の指針はあるか伺う。 (2) 緊急速報等の情報のバリアフリー化について伺う。 (3) 子ども向けの防災教室において、一人での身の守り方や、救援方法の一連の行動をまとめて教える仕組みを導入できないか伺う。 (4) 子どもたちを地域全体で守るデジタルご近所ネットワークを構築できないか伺う。 (5) どの施設においても市民の方が平等に守られる対策を構築できないか伺う。
2 周辺地域へ観光客を呼び込む仕組みづくりについて	(1) おもじろ釜を地域の名所として看板の設置をするなど、周辺地域の観光地の見える化について伺う。 (2) 周辺地域の名所を網羅した観光案内マップの設置について伺う。 (3) 観光の最前線を支える小売業・サービス業への直接的なサポートについて伺う。

# 一般質問通告事項

令和8年2月25日  
第1回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
1 松江市の観光について	<p>(1) 令和7年末から令和8年始めにかけての松江市内の主な施設における観光客の入り込み状況について</p> <p>ア 集客の変化はあったのかどうか伺う。</p> <p>イ 主な施設の営業日時について伺う。</p> <p>(2) 年初の地震に関して</p> <p>ア 宿泊施設、観光施設への影響について伺う。</p> <p>イ 県外観光客やエージェントへの広報、周知について伺う。</p> <p>ウ 各施設の物損、経済的ダメージに関しての支援の有無を具体的に伺う。</p> <p>(3) 宿泊税について</p> <p>ア 徴収現場における問題点はないか伺う。</p> <p>イ 愛称を含めて税金のネーミングは考えられないか伺う。</p> <p>ウ 令和7年12月議会で、市長が表明した「小泉八雲記念館」の博物館への格上げの基金などへの積み立ては考えられないか伺う。</p>

# 一般質問通告事項

令和8年2月25日  
第1回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
順序 19 議員名 佐藤和彦 (個人質問) (一問一答方式) 質問日(予定) 3月5日	
1 横断歩道等の標示について	(1) 横断歩道及び横断歩道前の停止線及び信号のない横断歩道の手前のひし形の道路標示などの補修はどのような過程を経てどこが実施されるのか伺う。 (2) 令和5年度の要望数、実施数及び実施率を伺うとともに、実施の優先度の考え方を伺う。 (3) 地元地域やPTAなどからの要望を提出した際に、最終的に要望先や予算の振り分けなどを執行するのはどこか伺う。 (4) 予算執行についても管理管轄から脱却はできないのか。松江市として、市道にある横断歩道を補修することは出来るのか伺う。 (5) 市民の安全と安心を守ることが最優先事項かと思う。再発防止策はマスト事項である。「松江市が良くなったね」と市民に思ってもらえるように願うが市長の見解を伺う。
2 「パトレポしまね」や「標識BOX」、国土交通省の道路緊急ダイヤル(#9910)について	(1) 島根県の道路や河川の異常をスマホから通報できる「パトレポしまね」や島根県警察の「標識BOX」、国土交通省の道路緊急ダイヤル(#9910)とはそれぞれどういうものか伺う。 (2) それぞれの利用状況(インストール状況)と通報利用状況、特に道路の穴、倒木の情報、横断歩道の標示が消えている情報についての通報数を伺う。 (3) 通報があったものは要望になるか伺う。また、通報に対し確認をされると思うが、確認までの時間はどのくらいか伺う。また、要望の優先度を伺う。 (4) 松江市として「パトレポしまね」や「標識BOX」、国土交通省の道路緊急ダイヤル(#9910)の周知方法及び周知状況を伺う。
3 災害時地下水利用ガイドラインについて	(1) 災害時地下水利用ガイドラインができた目的及び背景はどのようなものか伺う。 (2) 現在、松江市において生活用水確保のため防災井戸の登録・活用あるか伺う。また、近隣の市町村状況を伺う。 (3) 災害時に提供が可能な井戸や湧き水の情報把握は必要なことと思うが見解を伺う。

# 一般質問通告事項

令和8年2月25日  
第1回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
<p>順序 20 議員名 中村ひかり (個人質問) (一問一答方式) 質問日(予定) 3月5日</p>	
1 災害対策とBCPについて	<p>(1) 島根県東部で発生した地震における本市の推定被害額および災害復旧工事の見通しを伺う。</p> <p>(2) 本市として事業継続計画(BCP)を策定しているか伺う。策定している場合、どのような課題があったか、今回の地震により新たな課題が見つかったら伺う。</p> <p>(3) 実効性のあるBCPを策定するために本市として事業者へ支援できることがないか伺う。</p>
2 ひきこもり等困難を抱える青少年について	<p>(1) 松江市における青少年のひきこもりの現状を伺う。</p> <p>(2) 若者支援対策事業補助金の概要を伺う。令和7年度の補助決定は何団体でそれぞれいくらだったか伺う。</p> <p>(3) 困難を抱える青少年のために事業を拡充してはいかがか伺う。</p>
3 養育費の履行確保支援について	<p>(1) 養育費の履行確保に向けた見直しについて法改正の概要を伺う。</p> <p>(2) 取り決めをした養育費が支払われていない背景について市の見解を伺う。</p> <p>(3) 弁護士費用を補助し、養育費の履行確保を支援してはいかがか。</p>

# 一般質問通告事項

令和8年2月25日  
第1回松江市議会定例会

順序	議員名	樋野伸一	(個人質問)	(一括方式)	質問日(予定)	3月5日
質問項目		質問要旨				
1	医療・介護の問題について	<p>(1) 医療、介護はそもそも日本国憲法と深くむすびついています。憲法第25条の理念に基づき無差別平等に提供されるべきです。医療、介護を守るために診療報酬、介護報酬の引き上げ、国庫負担の拡大、地域医療への支援強化を求めます。</p> <p>ア 松江市としても事業者の経営改善と賃金引き上げのため、国に対し診療報酬、介護報酬引き上げ、国庫負担の拡大、地域医療への支援強化を要望するべきと考えます。所見を伺います。</p> <p>イ 医療、介護従事者の低賃金や過酷な労働環境が改善されなければ若者が職業として選択しなくなり、将来の担い手不足につながります。医療機関独自の看護師確保のための奨学金制度があると伺っています。松江市にも奨学金制度がありますが医療、介護分野に特化した給付型奨学金制度の創設を求めます。所見を伺います。</p> <p>ウ 医療、介護従事者確保のため、市としてできる支援について伺います。UターンIターン者への引越し費用や住宅費の助成、学生への職業体験の拡充、他業種からの転職支援や研修費用の助成など検討すべきと考えます。所見を伺います。</p> <p>エ 地域の病床数は年々減少しており、市内でも病床休止の動きがあります。看護師不足や経営難が主な要因とされています。感染症の流行時には病床の確保が不可欠です。これ以上の病床削減に歯止めをかけるべきと考えます。看護師確保支援や物価高騰の影響を受けている医療機関、介護施設への市独自の支援について、所見を伺います。</p> <p>オ 介護保険の利用者の負担引き上げが検討されていますが、高齢者の生活に重大な影響を与えます。負担増が行われないよう国に働きかけるべきと考えます。所見を伺います。</p>				
2	防災対策について	<p>(1) 今回の地震を通じて災害への備えの重要性を改めて認識しました。そこで指定避難所を中心とした防災対策の現状と課題について伺います。なお参考資料として県の令和7年9月時点の防災資料を踏まえて質問します。</p> <p>ア 地震後、地域住民からの避難に関する問い合わせが寄せられました。松江市の指定避難所225施設について最大収容人数をどの程度と想定しているのですか。ベッドやパーテーション等は確保されているのでしょうか。そして備蓄食料は十分確保されているのでしょうか。現在の状況を伺います。</p> <p>イ 簡易トイレは県全体で3,119個とされていますが、松江市の人口規模を踏まえた必要数は何個と見込んでいるのか、現在の保有数と最終的な備蓄目標数、そして不足がある場合は整備計画について伺います。</p> <p>ウ 松江市の避難所の225か所中エアコン設置されているのは107か所に留まっています。現在の設置状況をお示してください。災害は季節を選びません。県内他市では7割を超える自治体もありますが、松江市として全避難所へ設置することを強く求めますがいかがですか。伺います。</p>				

# 一般質問通告事項

令和8年2月25日  
第1回松江市議会定例会

質問項目	質問要旨
順序 21 議員名 樋野伸一 (個人質問) (一括方式) 質問日(予定) 3月5日	
3 島根原発の問題について	<p>(1) 中国電力は2006年には水力発電施設でのデータ改ざんや報告漏れが発覚し、2010年全国ニュースで報じられた島根原発1号機2号機での511か所に及ぶ検査不正が発覚し、原発の信頼性が揺らぐことになりました。県民、市民の命を守るべく「安全軽視」の姿勢が大問題です。その他にも機密文書の裁断や廃棄物処理機器の検査偽装、サイトバンカ建物法定巡視を怠った事例など原発を動かす企業としての信頼性がありません。以下2点伺います。</p> <p>ア もはや電力会社が嘘をつかないという「性善説」は通用しません。今後中国電力が市民の命と暮らしを脅かす不正があった場合、いかなる対応をとるのか所見を伺います。</p> <p>イ 1月6日の島根県東部地震で松江市は震度5強と強い地震で市民は恐怖を感じました。島根原発は岩盤が固く揺れは震度3程度で緊急停止もなく安全だったと中電から報告がありました。しかし軽視してはいけません。直下の宍道断層で震度6を超える地震が起これば想定を超える被害が心配されます。市民の命を守る為に廃炉の決断を求めます。所見を伺います。</p>